

輸送動向について（6月分）

平成25年7月

1. 輸送概況

今月は、鉄道人身障害事故等による輸送障害の影響を受け、高速貨10本が運休となった。

荷動きについては、国内販売の落ち込みがあるものの、一部顧客のモーダルシフトの進展により、月全体では前年を上回った。

コンテナ貨物は、自動車部品、家電・情報機器等が前年を下回ったものの、積合せ貨物、紙・パルプ等が前年を上回り、全体では前年比101.4%となった。自動車部品及び家電・情報機器は国内需要の減少により減送となった。一方、積合せ貨物は一部顧客の専用列車の運行開始等により増送となった。また、紙・パルプは震災により被災した生産拠点の復旧によりそれぞれ増送となった。

車扱貨物は、石油が需要の減少により前年を下回ったものの、一部顧客が前年の工場の定期修理等により増送となり、全体では前年比102.1%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,676	1,654	101.4%	5,045	4,969	101.5%
車 扱	614	601	102.1%	1,946	1,864	104.4%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	102	95	7	107.0%
	化学工業品	161	164	-3	97.8%
	化学薬品	114	119	-5	96.0%
	食料工業品	278	271	7	102.6%
	紙・パルプ	247	237	10	104.2%
	他工業品	135	143	-8	94.5%
	積合せ貨物	185	166	19	110.9%
	自動車部品	76	85	-9	89.6%
	家電・情報機器	37	42	-5	88.7%
	エコ関連物資	41	36	5	113.4%
	その他の他	300	294	6	102.0%
コンテナ計	1,676	1,654	22	101.4%	
車 扱	石油	368	380	-12	96.9%
	セメント・石灰石	98	97	1	101.7%
	車 両	59	61	-2	97.7%
	その他の他	89	64	25	138.0%
	車 扱 計	614	601	13	102.1%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）